

令和4年度(2022年度)予算

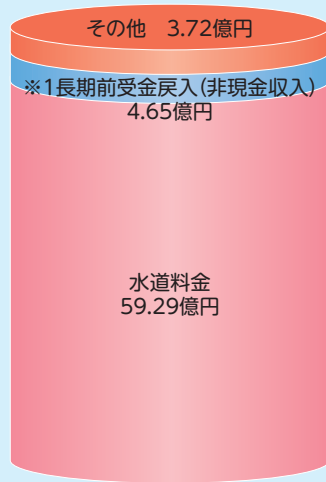
水道事業

収益的収支

【税込】

水道水は、原料となる水(原水)を浄水場で安全な飲み水にした後、ポンプ場や配水場を経由し、お客さまのもとへ届けられます。水道施設を維持管理するために必要な費用とその財源となる水道料金等の収入のバランスを管理しているのが「収益的収支」です。

家計に例えると、給料(収入)と生活費(支出)の関係にあたります。



●収入 67.66億円



●支出 61.71億円

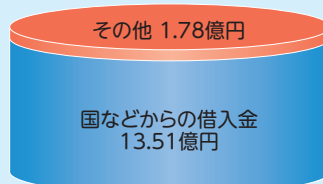
資本的収支

【税込】

浄水場や水道管などの水道施設の建設や改良に必要な費用と、その主な財源となる国などからの借入金の収入とのバランスを管理しているのが「資本的収支」です。

家計に例えると、住宅や自動車などの資産の購入にあたって、その借入金(収入)と資産の購入費や過去に借りたローンの元金返済(支出)の関係にあたります。

※不足額20.99億円は、これまでの利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんします。



●収入 15.29億円



●支出 36.28億円

令和4年度に実施予定の主な事業

●長府浄水場更新事業

長府浄水場は、本市の約80%の浄水を担う市内最大の浄水場ですが、築後70年以上経過し、施設の老朽化が顕著に表れています。このため、安定供給のための施設能力向上と併せ、事故や災害に強い施設とするために各施設の更新を行います。令和4年度には、事業者を決定の上、設計などを開始し、令和18年度の工事完成を目標として更新を行う予定です。



現在の長府浄水場

●水道施設の老朽施設更新事業

水道管の破損事故を未然に防ぎ、安全・安定・安心な給水体制を維持するために、経年劣化した導水管及び送水管の更新を実施します。



送水管布設工事

用語解説

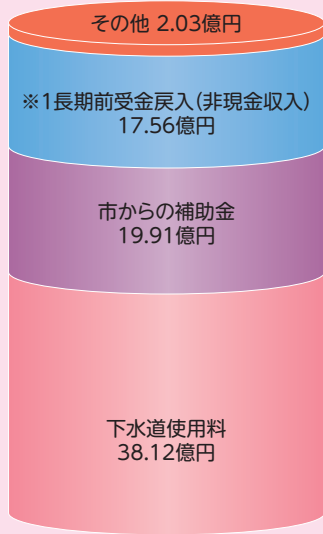
- ※1 長期前受金戻入 …………… 補助金等により取得した資産の減価償却費見合い分を収益として計上したもの
- ※2 減価償却費 …………… 施設などの資産を耐用年数に応じて各年度の経費として分割して計上したもの
- ※3 受益者負担金・分担金 …… 下水道施設の建設費の一部を下水道整備区域内に土地を所有している方などに負担していただくもの

下水道事業

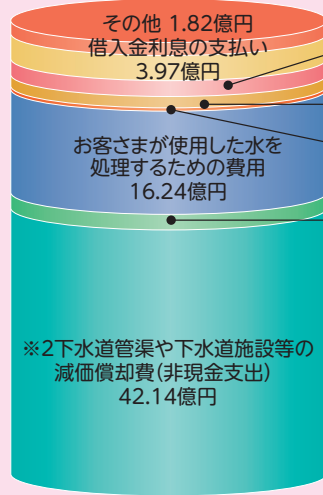
収益的収支

【税込】

お客さまが使用した水を下水道管とポンプ場などを経由して下水処理場に集め、きれいにして川や海へ放流するための費用と、その財源となる下水道使用料等の収入とのバランスを管理しているのが「収益的収支」です。
家計に例えると、給料（収入）と生活費（支出）の関係にあたります。



●収入 77.62億円



●支出 71.59億円

資本的収支

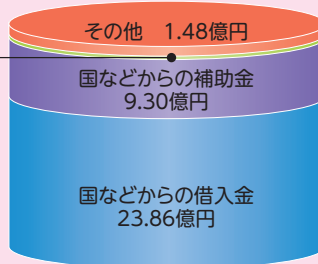
【税込】

下水処理場や下水道管渠などの下水道施設の建設・改良に必要な費用と、その財源となる国などからの借入金や補助金等の収入とのバランスを管理しているのが「資本的収支」です。
家計に例えると、住宅や自動車などの資産の購入にあたって、その借入金（収入）と資産の購入費や過去に借りたローンの元金返済（支出）の関係にあたります。

※不足額35.93億円は、これまでの利益や減価償却費等の非現金支出により積み立てられた内部留保資金で補てんします。



※3受益者負担金・分担金 0.49億円



●収入 35.13億円



●支出 71.06億円

令和4年度に実施予定の主な事業

●下水道施設の未普及対策事業

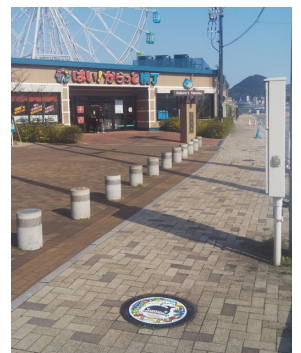
本市の下水道処理人口普及率は78.0%であり未だ全国平均80.1% (R3.3月末時点)に達していない状況です。引き続き下水道施設の整備を推進し、周辺環境の改善やトイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境を市民の皆様へ提供するとともに、汚水処理による公共用水域の水質保全を図ります。



推進工法(立坑内部の様子)

●下水道施設の改築・耐震化事業

管路や施設の老朽化による事故や機能停止といったリスクを未然に防ぐため、事業費の平準化及び費用対効果を考えながら、計画的に老朽施設の改築・耐震化を推進し、下水道機能の維持を図ります。



マンホール蓋設置状況